

目次

はじめに	1
私たちの問題意識	4
本文中の用語解説	4
事例紹介・発表用フォーム	5
参加者一覧	6
No. 1 千葉食物アレルギー親と子の会	7
森田香緒里◎食物アレルギーに対する理解が必要	
ディスカッション▶「良くなる」という言葉の重み	
◆科学的根拠に基づく相談の大切さ	
No. 2 アレルギー児を持つ親の会 サークル“どんぐり”	17
(代理発表) 桐谷利恵◎いじめがきっかけになり不登校、治療への意欲を失う	
ディスカッション▶傾聴だけでよいのか？	
◆その人の心のために同じ相談を聞くことも・・・	
No. 3 逗子食物アレルギー親の会 Yummy (ヤミー)	24
照下千恵◎交流会で出る主な話題と団体の対応	
ディスカッション▶増えている(?) アレルギーと発達障害	
◆重なる相談事例	
No. 4 NPO 法人千葉アレルギーネットワーク	26
桐谷利恵◎他地域の状況把握難しい、	
ディスカッション▶支援のあり方について	
◆仕組みづくりに地域差／難しい当事者と支援者の同時支援	
No. 5 NPO 法人アレルギーネットワーク京都ぴいちゃんねっと	31
小谷智恵◎一時保育で誤食、幼稚園入園時に責任を問わない「誓約書を求められる」	
ディスカッション▶アレルギー児童への対応	
◆医師の介在が不可欠	
No. 6 日本生活協同組合連合会 /NPO 法人食物アレルギーパートナーシップ	35
丹敬二◎アレルギーに関する相談の概要／任意表示のあり方について	
ディスカッション▶同じ質問のくりかえしは勉強不足？	
◆望まれる勉強会の全国開催	

No. 7	カルビー株式会社（お客様相談室）……………	41
	宮川亜希乃●配合量のお問い合わせについて	
	ディスカッション▶安全性と消費者の気持ちのはざままで悩む企業	
	◆食べられるものを探す親の気持ち	
No. 8	NPO 法人アトピッ子地球の子ネットワーク……………	45
	岡村直子●患者本人の納得と治療の進捗について	
	ディスカッション▶アレルギー対応に地域差	
	◆医師とのコミュニケーションをどうサポート？	
No. 9	社会的家庭養護事業所……………	51
	(代理発表) 赤城智美●社会的養護施設の受け入れ児童の事例	
	ディスカッション▶貧困、家庭問題…、アレルギーを取り巻く環境	
	◆社会的ネットワークの必要性	

アレルギー相談をテーマにした「事例検討会」感想・ご講評（発表順）

相談者の多様なニーズにどう応える？／サポートする側とされる側の関係性）……………	53
大日義晴さん 首都大学東京大学院社会科学部研究科（家族社会学）	
相談における「診療ガイドライン／責任と義務に対する期待を明確にする大切さ……………	57
補足 「課題の共有による新たなコミュニティ」	
畠山洋輔さん 東京大学大学院総合文化研究科（社会学）	
アトピー、アレルギーを考えるうえでの相違点／EBM からこぼれた患者が行く先は？…	62
牛山美穂さん 早稲田大学高等研究所助教（文化人類学・医療人類学）	
エビデンスの重要性／その子にとっていちばんいいサポートを考える……………	64
下条直樹先生 千葉大学医学部附属病院・小児科	

相談する身体 吉澤淳……………	66
-----------------	-----------

「相談」の意味について 赤城智美……………	67
-----------------------	-----------

次回の開催について……………	69
----------------	-----------